

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン  
平成28年度第5回理事会議事録

1. 日 時 : 2016年10月30日(日) 13:00~16:35

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル1階 南館

3. 出席者

(1) 本人出席者 6名

高橋友一、今井俊二、中島晃芳、島谷太、野村泰朗、丹羽尚子

(2) 委任状提出者 4名

北原達正、平光宗基、松原仁、金田忠裕(監事)

(3) 理事以外出席者 6名

蟬正敏(監事)、水野勝教(ワーキンググループメンバー)、竹間直美(ワーキンググループメンバー)、前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

4. 議 事

1. 事業報告

- ・会員募集状況、活動報告書作成状況
- ・JST中間報告

2. 2017世界大会について

- ・状況報告
- ・年齢制限などについて

3. 2017ジャパンオープンに関して

- ・CoSpaceの扱いについて
- ・技術委員名簿、ブロック大会開催日について

4. 前回からの継続

- ・会員登録、ジャパンオープン登録システム
- ・内規改定案、チャレンジの会議場メンバー管理方法
- ・2020年のワールドロボットサミット  
(ロボカップアジアパシフィックオープン)
- ・次回の理事の選考手順

5. 議事録署名人の選定

6. その他

5. 資 料

資料1. 内規改定案

資料2. 会員登録、ジャパンオープン登録システムについて

資料3-1. 競技関連スケジュールについての提案

3-2. ジャパンオープンにおける年齢制限について

3-3. ジュニア会員年会費について

3-4. ジャパンオープンにおける小学低学年向けのロボット講座等について

## 6. 議事概要

### (1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

### (2) 事業報告について

①浅沼事務局員より、今年度の会員募集状況について、現時点の申込数の報告がなされた。また活動報告書は現在作成中との報告があり、原稿を理事に回覧した。

②高橋代表理事より、JST中間報告書を10月30日に提出した旨報告がなされた。

### (3) 2017世界大会について

①高橋代表理事より状況報告がなされた。現在、主催団体（名古屋市、愛知県、フェデレーションなど）の他に企業からの協賛金集めやレイアウトの検討をしていることの報告がなされた。また、ドイツ世界大会同様に、アマゾン・ピッキング・チャレンジを併設する方向である説明がなされた。

②野村理事より、年齢制限やプライマリーとセカンダリーの扱いが未定であることが報告された。この件については、現状と決まり次第お知らせする旨をRCJJのHPに掲載することとなった。

### (4) 2017ジャパンオープンについて

①中島理事より、CoSpaceの扱いについて提案がなされた。複数ブロックでCoSpace競技が開催された時はジャパンオープン2017で開催する。出場希望者は所属ブロックで開催の有無を確認するよう案内すること。所属ブロックで開催がない場合には、CoSpace競技が開催されないそのブロックからの参加者のために東日本、西日本に分けてブロック大会を開催することになった。

②野村理事から、11月23日に中津川で行われる競技専門委員会で、競技専門委員を兼ねる丹羽理事にリチウム電池の使用やはんだ付け等に関して会場での制限を確認の依頼があり、野村理事が11月23日までに車検及びバッテリーの統一ルール案を用意する事になった。

### (5) 前回からの継続案件について

①今井理事より、資料2に基づき、会員登録及びジャパンオープン登録システムの改善について提案がなされた。予算の観点と各ノード、ブロックからジャパンオープンまで同じ方法で登録することを考えると、関東ブロック、関西ブロックの登録システムについて中島理事と蟬監事に報告して頂き、再考することとなった。今井理事に、現行登録システムの手順のマニュアル化を依頼した。また水野氏から、現行登録システムを使用する時は登録の際のRCJJのアドレスは古い年度の入っているものではなく、新しい年度ものを用意する方が良いとの意見があり、北原理事に対応して頂く事になった。

②水野氏より、資料1に基づき、内規改定について目次案が提案された。ジュニア日本大会運営委員会、委員などの任期などに関する方向性の説明があった。ブロック構成を含め、内規の改定を進めることとなった。

③高橋代表理事より、2020年ワールドロボットサミット、関連してロボカップアジアパシフィック (RCAP) について報告があった。RCAPについては先日北京で開催された会議での内容が紹介され、今後はフェデレーションからの正式な発表に備え、ジュニアジャパンの体制、大会出場チームの選抜方法などを検討することになった。

④前田事務局長より、次回の理事の選考手順について説明がなされた。理事改選にあたり、会員募集締切り以降に、正会員へ公知方法として10日間ほどHPにその旨を掲載することとなった。

### (6) その他

①中島理事より資料3に基づき、競技関連スケジュール、ジャパンオープンでの年齢制限、ジュニア会員会費、ジャパンオープンでの小学低学年向けのロボット講座等について、提案がなされた。

・競技関連スケジュールについて、8月末までにノード・ブロックの新設・変更を申請、9月末までに理事会でノード・ブロック体制を確定するスケジュール方針とすることになった。国際ルールの翻訳に謝金を出す提案については、島谷理事が次年度予算案を検討することとなった。

・他の案件については、今後引き続き検討していくことになった。

ジュニア会員会費に関連して、高橋代表理事より平成16年度から始まったJST国際科学技術コンテスト支援事業が平成28年度で中期計画期間が終了する事、平成29年度から事業計画内容は未公開である事で、変わる可能性がある事が紹介された。

②2017世界大会のボランティアスタッフについては、2017世界大会のLOCを兼務する理事を中心にジャパンオープン開催時から考慮に入れて準備する事が再度確認された。

③鳥取地震の影響から、鳥取ブロックに関しては、ノード大会における参加チーム数が昨年度を下回った場合、チーム数や大会開催形態に関係なく、昨年相当のチーム数を、今年度の鳥取プロ

ックの参加数とすることとなった。各競技の技術委員会には、その数で2017春の参加枠を算出する様に依頼することとなった。

④次回理事会の開催日は、11月27日(日)または12月4日(日)のいずれかで調整することとなった。

(7) 議事録署名人の選任

閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、中島晃芳氏、及び丹羽尚子氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成28年10月30日

議長 高橋 友一

議事録署名人 中島 晃芳

同 丹羽 尚子

